

## 畜産経営者の視点で先を読む 独自の研修制度で生産者ニーズに対応

JA全農グループでは、世界各国から調達した家畜飼料の原料となる穀物を徹底した品質管理のもと、国内の港で搬入・保管。飼料工場では製品に加工された配合飼料は、地域別飼料会社から生産者へお届けしています。最終回は、生産者を最前線でサポートするJA東日本くみあい飼料株式会社の営業担当者についてレポートします。

**衛生・防疫管理を徹底し  
高品質な製品を**

世界各地から輸入された穀物は、徹底した品質管理のもとに保管・配送され、地域別飼料会社の飼料工場に届けられます。JA東日本くみあい飼料株式会社は、こうした穀物や国内食品メーカーから産出される大豆粕などの副産物、飼料米などの原料から家畜の配合飼料を製造・販売しています。

同社は、3支店（東関東・北関東・東海）、4営業所（神奈川・山梨・長野・新潟）を持ち、飼料工場5つ（鹿島・太田・新潟・知多・清水）を保有。16都県の生産農家に飼料を届けています。「安全・安心な食に貢献する」をモットーに、安全管理の適正製造規範（GMP）ガイドライン及び品質マネジメン

**独自の研修制度とOJTで  
勉強を重ねる**

トシステム「ISO9001」に基づく最新の製造設備を導入。衛生・防疫管理を徹底し、高品質な製品を開発・製造しています。

生産者を一軒一軒訪問してニーズや課題をヒアリングし提案を行う営業担当者には、飼料や畜産に関するさまざまな知識が求められます。そのため、全農主催の講習会を受講するほか、「くみあい飼料学校」と名づけた独自の研修制度を導入。配合飼料の基礎知識や飼料分析法、成分表示、飼料製造設備の保全・修理方法など、社員のキャリアにに応じて、年間約20講座を開講。更に、現場OJTにより、生産者それぞれの特色に対応し、的確

りうれしい」（北関東支店営業部乳牛課 高橋敏行氏）

また、繁殖農場や哺育育成農場を自ら運営し、生産基盤を維持する事で生産者の皆さまに貢献する

活動にも取り組んでいます。今後も、生産者に寄り添った営業を心がけ、付加価値を提供する事で、生産者の経営をサポートし、豊かな食の提供につなげます。



高橋氏担当農家様 株式会社 Yファーム佐野 (栃木県佐野市)



生産者様からのお問い合わせやご相談には、普段からスピード感と誠意をもった回答を心がけています (高橋氏)

栃木県佐野市で、酪農と繁殖和牛、水稻を手がけています。くみあい飼料の製品は、非遺伝子組み換えのトウモロコシを扱うなど、品質に信頼持てると思って使い始めて12年になります。営業担当者は、飼料だけでなく設備の事も相談できる、頼もしい存在です。台風で牛舎が浸水した時は、飼料のやり方などのアドバイスに加え、皆の先頭に立って復旧作業を手伝ってくれ、助かりました。



山崎 税 様  
株式会社 Yファーム佐野  
代表取締役



宮木氏担当農家様 株式会社 長谷川農場 (栃木県足利市)



担当する約50軒のお客様、お一人おひとりと真摯に向き合い役立つご提案をし続けます (宮木氏)

栃木県足利市で、循環型多角的農業を営み、肥育牛約700頭、米、麦、アスパラガスなどを生産しています。くみあい飼料の営業担当者は、飼料に関する専門知識を備えた牛を育てるプロだと思って信頼し、一緒に牛を育てているという感覚を持っています。肉牛は、餌によって大きく肉質が変わります。担当者が提案してくれた牛の血液分析の結果をもとに飼料を調整したところ、成果が上がり、感謝しています。



長谷川 大地 様  
株式会社 長谷川農場  
取締役

### 畜産物の安全・安心を根幹から支えます



執行役員 営業部長 岩月俊樹氏(左)と  
北関東支店 営業部長 宮前秀刀氏(右)

生産者に寄り添った営業を心がけ、お客様から「必要だ」と選ばれる会社であるために、飼料のみならず高い付加価値を提供していきたい。

執行役員 営業部長 岩月 俊樹氏

『くみあい飼料学校』の新人向け講習では、飼料の組み合わせについて学び、実際に自分の手で飼料に触れ、手配合も体験します。

北関東支店 営業部長 宮前 秀刀氏

### 飼料原料・配合飼料の流れ

